

(第2号様式)

名護第 2101号
令和5年 3月10日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立名護高校学校
校長 辻上 弘子
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	新型コロナウイルス感染拡大のため書面開催	場所	書面開催	出席状況	—
第2回	日時	令和4年12月22日(木)17:30~19:30	場所	本校小会議室(2)	出席状況	全員出席(4名)
第3回	日時	令和5年3月16日(木)17:30~18:30	場所	本校小会議室(2)	出席状況	3名出席(1名仕事の為欠席)

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校経営方針や教育活動への理解と協力
- ②保護者や地域住民等の意向把握
- ③地域への情報発信
- ④学籍・勤怠状況・成績状況・進路状況等の把握と理解
- ⑤学校行事、各学年の取組、生徒指導等に関する助言及び協力

3 学校評議員の意見

- ①資料の量、内容から先生方が生徒のために頑張っている様子が伺えた。
- ②生徒に一般入試で勝負できる学力を身につけさせてほしい。
- ③アルバイトを行う生徒が多くなっていると聞いて、コロナ禍による各家庭の経済的な厳しさを感じた。
- ④学園祭など学校行事が久しぶりに行え、生徒たちにとっては、高校だけでなく中学も含めたコロナ禍において、とても良い思い出になったと思う。
- ⑤校則の見直しについて生徒会を中心に取り組んだこと、とても評価できる。

4 学校運営に反映した事項

- ①感染防止対策や内容を工夫しながら、学校行事を行い生徒達の充実した学校生活へ繋げた。
- ②保護者の朝のあいさつ運動や美化活動、学園祭におけるPTAバザーなど保護者と一丸となった生徒の育成。
- ③中学生向け入試・学校説明会の持ち方を改善し、情報発信に努めた。
- ④学校教育目標の具現化を目指した授業実践。
- ⑤学習支援ツールClassiの活用方法を研究し、生徒の基礎学力の向上へ繋がる取り組みを行った。

5 課題その他

- ①新年度も社会状況を踏まえるとともに感染防止対策を行い、学校行事等教育活動を推進する。
- ②保護者・地域と協働し生徒の育成を図ることを目指し、PTA活動のさらなる充実を図っていく。
- ③学校ホームページでの情報発信をさらに充実させ、情報の周知や利便性を高める。
- ④自学自習が充実できるよう学習環境を整えるとともに生徒の自学意識を高め、目標を実現するために取り組んでいく。
- ⑤各部・学年間の情報共有がさらにスムーズにできる体制づくりを継続する。